

# 2020年第4四半期の国民所得統計及び2021年の予測

2021年2月20日 行政院主計総処発表  
(仮訳)

## I 概要

行政院主計総処は2月20日、2020年第3四半期の国民所得統計の修正、2020年第4四半期の国民所得統計の速報値、及び2021年の経済見通しなどを発表した。概要は以下のとおり。

一、2020年第4四半期の対前年同期比成長率（速報値）は+5.09%、2021年1月時点の概算値から0.15%ポイントの上方修正となった。また、第3四半期は+4.26%（修正前は+3.92%）に修正された。

二、2020年上半期（第1、2四半期の対前年同期比成長率はそれぞれ+2.51%、+0.35%）と合わせた2020年通年の経済成長率は+3.11%となり、2020年1月時点の概算値+2.98%から0.13%ポイントの上方修正となった。一人当た

りGDPは2万8,383米ドル、CPIは▲0.23%となった。

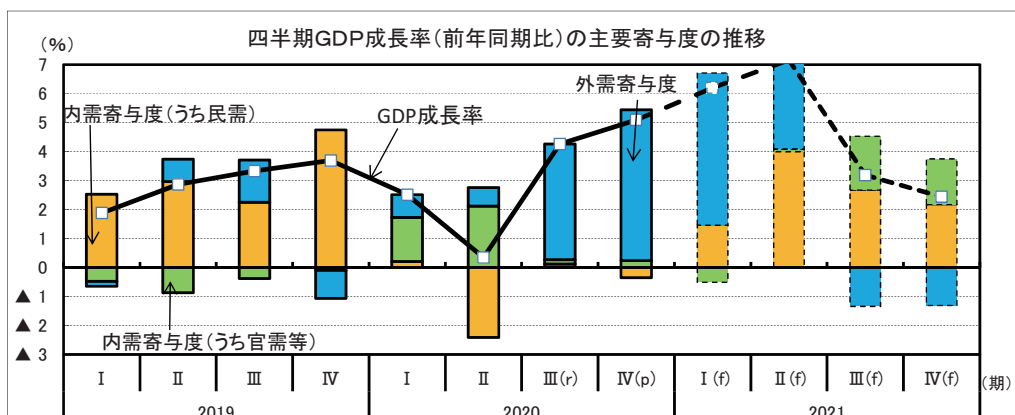
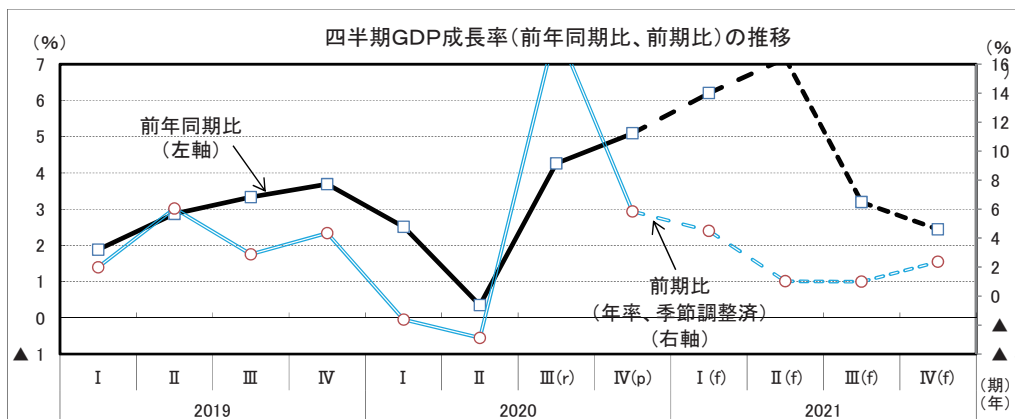
三、2021年の経済成長率の予測値は+4.64%であり、2020年11月時点の予測値+3.83%から0.81%ポイントの上方修正となった。一人当たりGDPは3万981米ドル、CPIは+1.33%の上昇となる見通し。

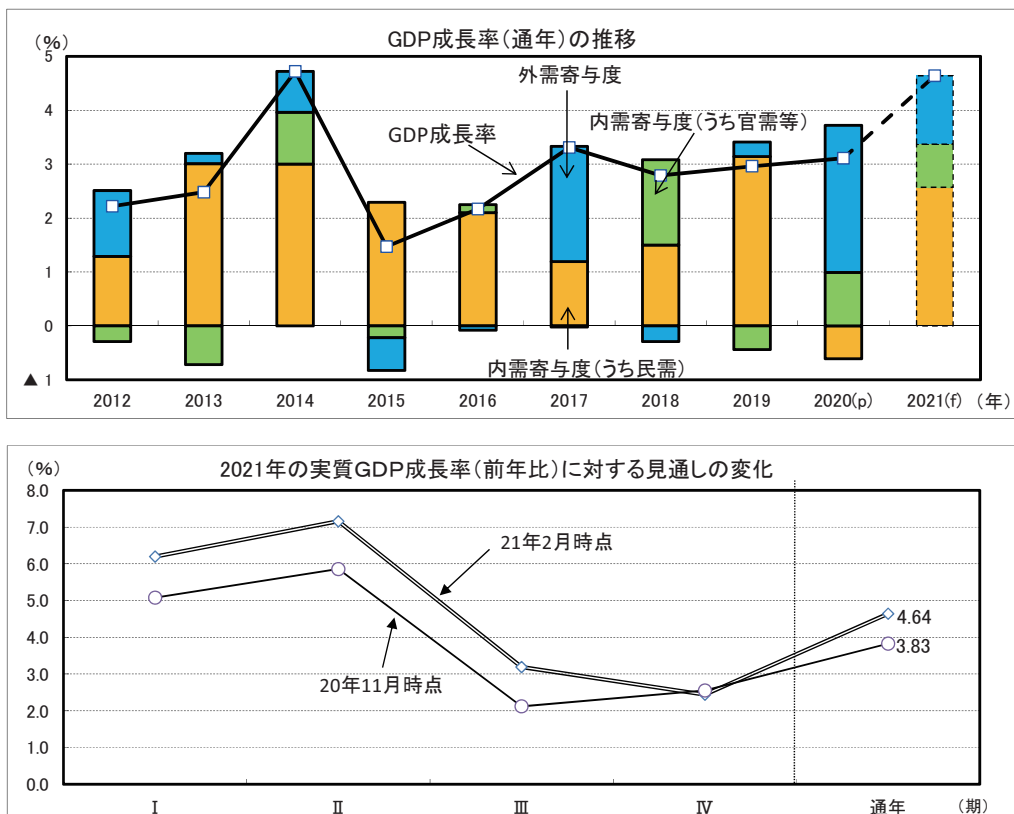
## II 国民所得統計及び予測

一、2020年第4四半期及び通年の経済成長率の速報値

(一) 2020年第4四半期GDP

2020年第4四半期速報値における実質GDP対前年同期比成長率(yoy)は+5.09%となり、2021年1月時点の概算値+4.94%から0.15%ポ





イントの上昇となり、2020年11月時点の予測値+3.28%から1.81%ポイントの上昇となった。また、季節調整後の前期比(sagr)成長率は+1.43%、同年率換算値(saar)は+5.84%となった。

1、外需面について

- (1) 新興応用技術及び遠距離サービス商機の持続的な拡大、加えて伝統商品への需要が漸次が増加したことから、第4四半期の輸出(米ドルベース)は前年同期比+11.73%(台湾元ベースでは+5.26%)となった。このうち、最も高いウェイトを占める電子部品業は+21.15%、情報通信及びAV機器+18.91%となった。ゴム・プラスチック製品、機械、化学品、基本金属製品はそれぞれ+11.75%、+4.49%、+3.14%、+2.32%とプラスに転じた。輸入について、輸出増に伴う輸入の拡大、及び消耗品への需要増加により、第4四半期の輸出(米ドルベース)は前年同期比+3.16%(台湾元ベースでは▲2.82%)となった。このうち、消耗品及び農工業用原材料品はそれぞれ+10.93%、+2.27%となった。一方、資本設備は▲0.27%となった。
- (2) 消費性電子新商品の発売、遠距離サービスへの需要増は、海外生産比率の高い情報通信商品の受注増加をもたらし、三角貿易が継続的に成

長したものの、出入国制限によって出国及び外国人観光客の入境が殆ど凍結され、物価要因を控除する等の各統計の調整を行った結果、商品及びサービス輸出入の実質輸出及び輸入はそれぞれ+5.67%、▲2.90%となった。輸出と輸入を相殺した外需全体の経済成長率全体への寄与度は+5.20%ポイントとなった。

2、内需面について

- (1) 第4四半期の民間消費は新型コロナウイルス感染の影響を継続的に受け、国民の海外消費が大幅に減少したが、国内消費が引き続き成長している。
- ① 出入国の禁止により、出国者数は▲98.16%と減少幅が第3四半期(▲97.80%)に近かった。国民の海外消費支出(速報値)は▲93.41%(Q3:▲93.54%)と民間消費への寄与度は▲5%ポイント超となった。一方、旅行支出(サービス輸入)も減少したが、GDP全体への影響はない。
- ② 国内消費について、MRT、台鉄(在来線)、台湾新幹線の利用客は続落したものの、各国の入境禁止によって海外旅行できない反面、国内で消費する人口が増加し、デパートの周年記念セール、ショッピング節の販促による消費拡大、防寒商品への需要増、加えて在宅経済の持続的な好

調により、小売業、及び飲食レストラン業売上額はそれぞれ+ 2.42%、+ 1.15%となった。また、株取引の活況（上場・店頭取引高+ 72.23%）、個人投資家の増加は株式の取引手数料収入の大幅増加をもたらした。各消費項目と合わせて、外国人観光客の消費減少、物価要因を控除した第4四半期の国内消費は+ 4.29%となった。

③国民による国内外消費を計上した第4四半期の実質民間消費の成長率（速報値）は▲ 1.07%（Q3：▲ 1.55%）と経済成長率全体への寄与度は▲ 0.55%ポイントとなった。

(2) 実質政府消費は+ 4.37%、経済成長全体への寄与度は+ 0.65%ポイントとなった。

(3) 資本形成について、国内生産投資財は+ 12.26%となり、建築工程投資が持続的に拡大し、飛行機の大量購入による運輸機械投資の成長をもたらしたものの、半導体設備は基準となる昨年の値が高いこともあり、第4四半期の資本設備輸入（台湾元ベース）は前年比▲ 6.02%となり、在庫も減少した。物価要因を控除した第4四半期の実質資本形成全体は前年同期比▲ 0.95%となり、経済成長率全体への寄与度は▲ 0.21%ポイントとなった。このうち、実質民間投資全体は+ 1.13%となった。政府投資、及び公営事業投資の実質成長率はそれぞれ+ 4.20%、+ 18.78%となり、名目在庫調整は▲ 486億円の減少となった。

(4) 以上の各項目を合わせた第4四半期の内需全体の成長率は▲ 0.12%、経済成長率全体への寄与度は▲ 0.11%ポイントとなった。

### 3、生産面について

(1) 農業は雨量不足が園芸、農作物の収穫に影響したことにより、第4四半期の農業の実質成長率は▲ 0.05%となり、経済成長率への寄与度は横ばいとなった。

(2) 実質工業生産は+ 8.33%となった。このうち、製造業生産指数は5G通信、高速演算などの応用設備、及びゲーム機などの消費性電子製品への需要増加、加えて各遠距離サービス商機の拡大などの在宅経済の持続的な成長は関連製品の増産をもたらした。化学材料、基本金属、機械設備、自動車及び部品などの伝統産業の生産も次第に回復したことから、第4四半期の製造業実

質成長率は+ 8.60%となり、三角貿易の収益を合わせた第4四半期の製造業の実質成長率は+ 8.87%となり、経済成長率への寄与度は+ 2.79%ポイントとなった。建築工程業は台湾企業による回帰投資、IT産業による工場拡張、グリーンエネルギー投資の継続的な設置により、第4四半期の建築業の実質成長率は+ 6.08%となり、経済成長率への寄与度は+ 0.12%ポイントとなった。

3、サービス業について、卸売業はスマホ及びその関連部品への需要増加、及び遠距離サービス応用への持続的な需要が関連設備及び部品の販売好調をもたらしたことから、第4四半期の売上額は前年同期比+ 7.08%となった。小売業（売上額+ 2.42%）を計上し、物価要因を控除した卸売・小売業全体の実質成長率（速報値）は+ 8.63%となり、経済成長率への寄与度は+ 1.39%ポイントとなった。運輸及び倉庫業は、新型コロナウイルス感染の影響を受け、各陸上の旅客運搬量の減少が持続し、航空会社の旅客運搬量が出入国の禁止により3四半期連続で9割超の減少となった。一方、国内生産活動は堅調で、対外貿易の活況が貨物運搬への需要増加となったことは一部の減少幅を相殺したことから、第4四半期の運輸及び倉庫業の実質成長率は▲ 16.03%となり、経済成長率への寄与度は▲ 0.47%ポイントとなった。宿泊及び飲食レストラン業も新型コロナウイルス感染の影響を受けており、第4四半期の観光宿泊施設の総収入は▲ 24.84%（2ヶ月）となった。飲食レストラン業（売上額+ 1.15%）を加えた宿泊・飲食レストラン業の実質成長率は▲ 1.97%となり、経済成長率への寄与度は▲ 0.06%ポイントとなった。金融及び保険について、銀行の利息収入純額は+ 6.27%、証券先物の売上収入は+ 28.88%となったものの、銀行の手数料収入は▲ 3.76%となり、生保の保険収入は▲ 9.06%となった。その他保険サービス、投資信託顧問料等の手数料と合わせた第4四半期の金融・保険の実質成長率は+ 5.75%、経済成長率への寄与度は+ 0.36%ポイントとなった。

(二) 2020年の経済成長率の速報値

1. 2020年第3四半期の対前年同期比成長率

(yoy) は + 4.26% に修正し、2020 年 11 月時点の予測値 + 3.92% から 0.34% ポイントの上方修正となった。これは、主に経済部による「製造業投資及び運営概況調査」などの投資関連調査、中央銀行の国際収支 (BOP)、各級政府の実際の収支データなどの最新資料に基づき修正したことによるものである。季節調整後の前期比 (saqr) は + 4.34%、同年率換算値 (saar) は + 18.50% となった。

2. 2020 年下半期の経済成長率は + 4.69% となり、上半期の成長率 + 1.41% (第 1 四半期 + 2.51%、第 2 四半期 + 0.35%) と合わせた 2020 年通年の経済成長率は + 3.11% となり、2021 年 1 月時点の概算値 + 2.98% から 0.13% ポイントの上方修正、また、2020 年 11 月時点の予測値 + 2.54% から 0.57% ポイントの上方修正となった。

### 三、2021 年の経済展望

#### (一) 国際経済情勢

1. IHS Markit グローバルインサイトの 2 月の最新資料によると、新型コロナウイルス (COVID-19) の新規感染者及び死亡者が 2021 年初旬にピークに達し、2021 年年中以降、治療薬やワクチンの予防接種が漸次に普及した場合 (2020 年 11 月時点の仮定と同様)、2021 年の世界経済の成長率は昨年基準値 (2020 年▲ 3.7%) が低いこともあり、+ 5.0% (2020 年 11 月の予測値から 0.8% ポイントの上方修正) となる見通しである。このうち、先進国、及び新興国経済の成長率はそれぞれ + 4.3% (1.1% ポイントの上方修正)、+ 5.9% (0.2% ポイントの上方修正) となる見通しである。

2. 米政府は 2020 年末に 2.3 兆米ドル規模の支援法案を打ち出し、また、バイデン大統領が推進する 1.9 兆米ドルの経済振興策が可決される見込みなどは今後の経済回復にプラスとなることから、IHS の予測では、2021 年の経済成長率は前年同期比 + 5.7% (2.6% ポイントの上方修正) となる見込み。

3. 欧州は新型コロナウイルスの感染が依然として拡大しており、ロックダウン措置が厳しくなったことは民間消費に不利となることから、2021 年のフランス、イギリス、ドイツはそれ

ぞれ + 5.4% (1.3% ポイント上方修正)、+ 3.5% (横ばい) + 3.0% (0.5% ポイントの下方修正) となる見通しである。

4. 中国大陸は、生産が持続的に拡大し、経済が回復基調を維持し、また、昨年基準値が低いことから、2021 年の経済成長率は前年同期比 + 7.6% (0.2% ポイントの上方修正) となる見通しである。

5. IHS Markit が予測した 2021 年における韓国の経済成長率は + 2.6% (0.5% ポイントの上方修正)、香港は + 4.3% (0.1% ポイントの上方修正)、シンガポールは + 4.8% (0.3% ポイントの上方修正)、及び、日本は + 2.2% (横ばい) となる見通し。

#### (二) 2021 年の国内経済の予測

##### 1、対外貿易

(1) 半導体産業における製造工程の優位性によって生産が持続的に拡大すること、グローバルサプライチェーンの再構築において、業者が台湾への投資を持続的に拡大することで 5 G、車用チップ、高速演算、IoT などの需要急増に対応すること、加えて新型コロナウイルス感染の拡大がグローバル企業のデジタルへの転換、遠距離商機の拡大を刺激すること、国際農工原材料への需要回復、伝統産業の輸出回復、国際通貨基金 (IMF) の予測によると、2021 年の世界貿易量は 2020 年の▲ 9.6% 衰退から + 8.1% に好転し、台湾の輸出成長に追い風となる。こうした外需の拡大、及び台湾産業の優位性は輸出の大幅増を押し上げることから、2021 年の輸出は 3,784 億米ドル、前年同期比 + 9.58% となる見込み。また、各国が国境管理措置を継続的に実施し、外国観光客が激減したことに伴い、サービス貿易における旅行収入は 2020 年の低い水準を維持する見込み。商品及びサービス貿易を計上し、物価要因を控除した 2021 年の輸出実質成長率は + 5.05% (2020 年 11 月時点の予測値から 1.67% ポイントの上方修正) となる見通しである。

(2) 輸入は、国際的な農工原材料価格の上昇、輸出や内需の増加に伴う輸入の増加の影響を受け、輸入は持続的に拡大するものの、サプライチェーンの現地化が次第に形成され、産業クラスター

の構築により、輸入への依存度が漸次に減少することから、2021年の輸入（米ドルベース）は3,145億米ドル、前年同期比+9.77%となる見込み。サービス貿易について、出国管制の制約により、旅行支出の規模は2020年と同様の見通し。商品及びサービス貿易を加え、物価要因を控除した2021年の輸入の実質成長率は+3.76%（0.40%ポイントの上方修正）となる見通し。

## 2. 民間消費

民間消費については、防疫管制措置の厳格化は消費成長に多少影響を与えるものの、労働市場が安定し、国内外株式市場の活況、株価の上昇、所得及び資産の増加効果は民間消費の成長にプラスとなり、また、2020年上期の新型コロナウイルス感染拡大期間中があったことによる国内消費基準値が低いことから、2021年の民間消費は10兆元超で、実質成長率が+3.74%（0.30%ポイントの下方修正）となる見通し。

## 3. 固定投資

民間投資については、国内半導体業者が優位性のある製造工程に引き続き投資規模を拡大し、国内外関連サプライチェーンの現地化投資をもたらし、加えて台湾企業による回帰投資及び設備購入の増加、電信業による5Gインフラ構築の展開、洋上風力発電及び太陽光発電等グリーンエネルギー施設が引き続き建設され、老朽建築物の建替えなど投資活動の積極的推進、航空業者による飛行機の購入などは投資の成長を下支えることから、2021年の名目民間投資は4兆元となり、実質成長率は+3.91%（0.23%ポイントの上方修正）となる見込み。公共投資を加え、物価要因を控除した2021の固定投資

の実質成長率は+3.50%（0.31%ポイント上方修正）となる見通しである。

## 4. 物価

(1) 国際機関の予測及び足下における石油価格のトレンドを参考として、2021年のOPECバスケット原油価格を1バレル=52.8米ドル（2020年11月時点の予測値から5.8米ドルの上方修正）と設定する。

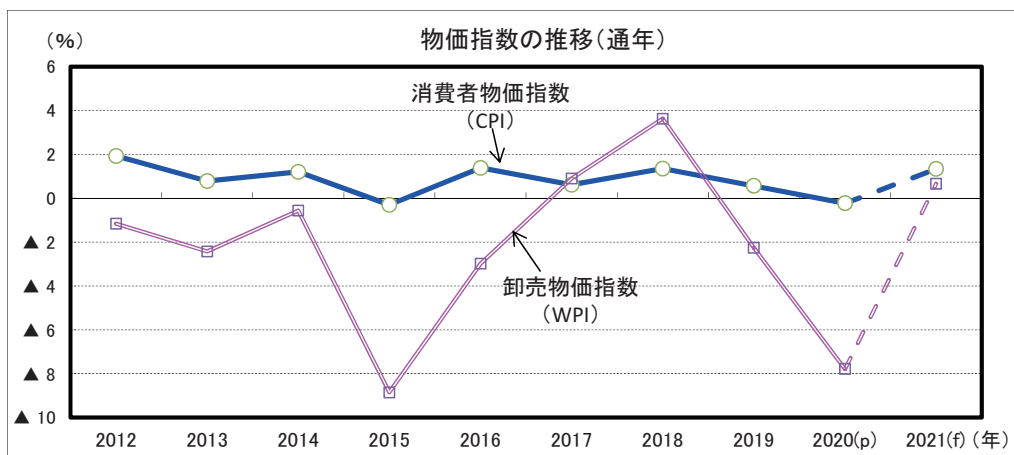
(2) 卸売物価指数（WPI）は、世界経済の回復に伴い、需要が持続的に拡大し、OPEC石油生産国が減産協議を延長し、国際原油、及びその他農工業原材料価格が明らかに上昇したものの、台湾元レートの切り上げが一部の上昇幅を相殺したことから、2021年のWPIは+0.66%となる見込み（1.24%ポイントの上方修正）。

(3) 消費者物価指数（CPI）は、原材料価格の上昇は企業のコスト負担が高まるものの、価格転嫁の猶予期により、2021年のCPIは+1.33%となる見通し（0.17%ポイントの上方修正）。

5、以上を総合すると、2021通年のGDPは20兆元台を突破し、経済成長率は+4.64%と2020年11月の予測値から0.81%ポイントの上方修正、CPIは+1.33%となる見通し。

### (三) 主要な不確実性

- 1、世界的に新型コロナウイルス（COVID-19）の感染抑制措置の有効性、治療薬のワクチンの提供進展、また、各国のロックダウンの解除時期。
- 2、米国と中国との間での貿易摩擦及びハイテク摩擦の今後の展開。
- 3、各国の財政及び金融政策の動向、及び効果。
- 4、石油、原材料価格の動向、及び、国際的な株式・為替・債券市場の動向。



重要経済指標 行政院主計総処 2021年2月20日発表

	経済成長率(実質 GDP) (%)			一人当たり GDP		一人当たり GNI		消費者物価 上昇率 (%)	卸売物価 上昇率 (%)	名目 GDP (百万台湾元)
	前年 同期比	前期比 (年率換算)	前期比	台幣元	米ドル	台幣元	米ドル			
2009年	▲ 1.57	—	—	559,807	16,933	577,241	17,460	▲ 0.87	▲ 8.73	12,961,656
2010年	10.63	—	—	607,596	19,197	625,560	19,765	0.97	5.46	14,119,213
2011年	3.80	—	—	614,922	20,866	630,965	21,410	1.42	4.32	14,312,200
2012年	2.22	—	—	630,749	21,295	649,322	21,922	1.93	▲ 1.16	14,677,765
2013年	2.48	—	—	654,142	21,973	671,384	22,552	0.79	▲ 2.43	15,270,728
2014年	4.72	—	—	694,680	22,874	713,443	23,492	1.20	▲ 0.56	16,258,047
2015年	1.47	—	—	726,895	22,780	745,634	23,367	▲ 0.30	▲ 8.85	17,055,080
2016年	2.17	—	—	746,526	23,091	765,711	23,684	1.39	▲ 2.98	17,555,268
2017年	3.31	—	—	763,445	25,080	782,437	25,704	0.62	0.90	17,983,347
2018年	2.79	—	—	779,260	25,838	796,852	26,421	1.35	3.63	18,375,022
第1季	3.41	3.35	0.83	190,824	6,508	200,490	6,836	1.55	▲ 0.12	4,498,784
第2季	3.42	2.16	0.54	190,128	6,385	193,545	6,498	1.72	4.90	4,482,674
第3季	2.29	2.02	0.50	194,996	6,356	192,926	6,287	1.67	6.70	4,597,982
第4季	2.12	1.72	0.43	203,312	6,589	209,891	6,800	0.46	3.14	4,795,582
2019年	2.96	—	—	802,361	25,941	822,553	26,594	0.56	▲ 2.26	18,932,525
第1季	1.88	1.99	0.49	194,238	6,298	202,442	6,563	0.33	0.70	4,582,557
第2季	2.87	6.04	1.48	195,672	6,279	202,026	6,483	0.81	▲ 0.58	4,616,576
第3季	3.33	2.88	0.71	202,375	6,482	201,815	6,463	0.41	▲ 4.01	4,775,197
第4季	3.69	4.34	1.07	210,076	6,882	216,270	7,085	0.70	▲ 4.99	4,958,195
2020年(p)	3.11	—	—	838,541	28,383	863,597	29,230	▲ 0.23	▲ 7.79	19,774,477
第1季	2.51	▲ 1.62	▲ 0.41	197,956	6,566	205,565	6,818	0.54	▲ 5.11	4,671,734
第2季	0.35	▲ 2.88	▲ 0.73	198,829	6,643	204,654	6,838	▲ 0.97	▲ 11.25	4,690,405
第3季(r)	4.26	18.50	4.34	215,726	7,318	221,070	7,499	▲ 0.48	▲ 8.65	5,085,985
第4季(p)	5.09	5.84	1.43	226,030	7,856	232,308	8,075	▲ 0.04	▲ 6.08	5,326,353
2021年(f)	4.64	—	—	879,597	30,981	899,612	31,685	1.33	0.66	20,731,066
第1季(f)	6.20	4.50	1.11	212,620	7,487	219,394	7,725	0.74	▲ 1.41	5,010,569
第2季(f)	7.16	1.02	0.26	212,774	7,495	217,460	7,660	1.80	2.92	5,014,265
第3季(f)	3.19	0.99	0.25	222,935	7,853	226,159	7,966	1.53	0.57	5,253,817
第4季(f)	2.44	2.36	0.58	231,268	8,146	236,599	8,334	1.25	0.67	5,452,415

r: 修正値、p: 速報値、f: 予測値

GDP の各構成項目の寄与度 (対前年同期比)

(単位：%)

	GDP	国内需要				民間消費				政府消費				固定資本形成				民間投資				公営事業投資				政府投資				国外需要			
		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度	
		成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度		
2012	2.22	1.07	1.00	1.92	1.05	0.36	2.36	0.36	1.28	▲ 0.30	1.38	0.24	▲ 0.12	▲ 10.47	▲ 0.42	1.22	1.90	1.53	0.42	0.31													
2013	2.48	2.47	2.29	2.55	1.40	▲ 0.21	▲ 1.36	7.03	1.59	1.61	9.16	1.61	0.05	▲ 2.27	▲ 0.08	0.19	3.21	2.55	3.26	2.35													
2014	4.72	4.33	3.96	3.70	2.00	0.56	3.78	3.50	0.79	1.00	5.48	1.00	0.07	▲ 8.33	▲ 0.27	0.76	5.99	4.65	5.63	3.88													
2015	1.47	2.30	2.07	2.86	1.51	▲ 0.02	▲ 0.13	2.68	0.60	0.78	4.28	0.78	▲ 0.09	▲ 2.99	▲ 0.09	▲ 0.61	0.36	0.28	1.32	0.89													
2016	2.17	2.58	2.25	2.64	1.36	0.51	3.68	3.44	0.74	0.74	4.08	0.74	▲ 0.04	1.75	0.05	▲ 0.08	0.93	0.66	▲ 0.99	▲ 0.58													
2017	3.31	1.34	1.17	2.70	1.40	▲ 0.06	▲ 0.41	▲ 0.26	▲ 0.06	▲ 0.21	▲ 1.16	▲ 0.21	0.01	5.82	0.15	2.14	4.50	3.03	1.63	0.89													
2018	2.79	3.55	3.08	2.05	1.07	0.56	4.02	3.19	0.67	0.43	2.45	0.43	0.15	3.78	0.10	▲ 0.29	0.20	0.13	0.78	0.42													
I	3.41	3.16	2.84	2.91	1.59	0.90	6.99	0.83	0.18	0.16	0.76	0.16	▲ 3.29	2.90	0.05	0.57	1.47	0.98	0.76	0.41													
II	3.42	2.29	2.05	2.82	1.47	0.89	6.40	1.06	0.23	0.20	1.09	0.20	0.05	▲ 0.70	▲ 0.02	1.37	3.11	2.05	1.27	0.68													
III	2.29	4.46	3.81	1.26	0.64	▲ 0.15	▲ 1.08	6.36	1.36	1.09	6.01	1.09	0.20	3.25	0.08	▲ 1.52	0.28	▲ 0.21	2.39	1.30													
IV	2.12	4.25	3.53	1.27	0.62	0.62	4.29	4.29	0.86	0.25	1.72	0.25	0.34	7.74	0.28	▲ 1.41	▲ 2.93	▲ 2.07	▲ 1.23	▲ 0.66													
2019	2.96	3.04	2.70	2.26	1.18	0.10	0.67	10.17	2.22	1.96	11.00	1.96	0.02	8.35	0.23	0.27	1.31	0.87	1.09	0.60													
I	1.88	2.24	2.05	1.73	0.98	▲ 0.35	▲ 2.44	7.76	1.67	1.55	8.11	1.55	0.01	6.46	0.12	▲ 0.17	1.12	0.70	1.59	0.87													
II	2.87	2.35	2.10	1.58	0.84	▲ 0.29	▲ 2.00	12.26	2.60	2.13	12.01	2.13	0.12	14.15	0.35	0.77	1.47	0.95	0.38	0.18													
III	3.33	2.09	1.86	2.57	1.32	0.61	4.45	4.32	1.02	0.93	4.67	0.93	▲ 0.12	7.69	0.20	1.46	0.06	0.06	▲ 1.40														
IV	3.69	5.38	4.65	3.17	1.57	0.36	2.34	16.51	3.50	3.18	20.50	3.18	0.07	6.08	0.25	▲ 0.96	2.54	1.71	5.03	2.67													
2020 (p)	3.11	0.42	0.38	▲ 2.37	▲ 1.24	0.37	2.61	4.96	1.18	0.63	3.23	0.63	0.33	7.30	0.22	2.73	1.06	0.67	▲ 3.86	▲ 2.06													
I	2.51	1.87	1.74	▲ 1.74	▲ 0.94	0.42	3.20	6.95	1.61	1.15	5.62	1.15	0.14	14.73	0.31	0.78	▲ 2.09	▲ 1.28	▲ 3.78	▲ 2.05													
II	0.35	▲ 0.33	▲ 0.30	▲ 5.21	▲ 2.72	▲ 0.12	▲ 0.89	4.11	0.97	0.31	1.56	0.31	0.51	5.27	0.15	0.64	▲ 3.44	▲ 2.15	▲ 5.35	▲ 2.79													
III (r)	4.26	0.32	0.28	▲ 1.55	▲ 0.80	0.50	3.52	6.12	1.43	0.92	4.63	0.92	0.29	8.28	0.23	3.99	3.33	2.12	▲ 3.55	▲ 1.87													
IV (p)	5.09	▲ 0.12	▲ 0.11	▲ 1.07	▲ 0.55	0.65	4.37	2.96	0.73	0.20	1.13	0.20	0.35	4.20	0.18	5.20	5.67	3.63	▲ 2.90	▲ 1.57													
2021 (f)	4.64	3.91	3.37	3.74	1.82	0.29	2.07	3.50	0.83	0.75	3.91	0.75	0.05	1.01	0.03	1.27	5.05	2.95	3.76	1.69													
I (f)	6.20	1.11	0.95	2.06	1.01	0.24	1.78	1.49	0.35	0.45	2.27	0.45	0.08	▲ 6.94	▲ 0.17	5.25	11.46	6.59	3.13	1.34													
II (f)	7.16	4.69	4.10	5.95	2.89	0.45	3.24	4.25	1.02	1.11	5.70	1.11	▲ 0.14	1.58	0.05	3.07	7.99	4.65	3.50	1.59													
III (f)	3.19	5.34	4.53	3.66	1.76	0.17	1.18	4.32	1.02	0.91	4.69	0.91	0.06	1.55	0.05	▲ 1.34	1.48	0.81	4.70	2.15													
IV (f)	2.44	4.42	3.74	3.41	1.62	0.32	2.13	3.81	0.90	0.55	2.98	0.55	0.17	4.72	0.18	▲ 1.31	0.80	0.33	3.67	1.64													

(出所) 行政院主計總處

(注) r : 修正値、p : 速報値、f : 予測値